

事務事業名	6次化のまちづくり推進事業		所属部局	秘書課	単位番号	2103-900063				
			所属課室	秘書課	課長名	中村 博明				
			所属担当	特命事業推進担当	担当者名	櫻本明正				
基本政策	基本計画体系	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	07	農林水産業の振興	01	一般	02	01	07	110	06	
施策	12	生産を支える基盤の整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 ~ 26 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	H24事業名:《H24新規》インターチェンジ開発6次化プロジェクト事業			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				報償費		負担金	170,000			
				旅費		出資金				
				需用費		貸付金				
			委託料	579	報酬					
			使用料及び賃借料	583	計	171,162				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	引き続き6次化ネットワーク拠点整備を進めるとともに、拠点とネットワークする事業の誘致や事業化の働きかけを進める。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定				ア:株式会社	社数
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	農家など参画する市民		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:直売所の売上	円
					イ:外食部門の売上	円
					ウ:農業人材育成者	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	適正な利潤を生み出す産業としての農業の確立と生きがい、健康づくり		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:直売所へ参画する農家	戸
					イ:農業技術研修へ協力する者	人
					ウ:新たに農業の取り組む者	人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	地域の基幹産業である農業振興		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:農業生産額	円
					イ:健康長寿の市民	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		30,000	129,041					
		一般財源	千円	47,050	536,838	1,162					
		事業費計(A)	千円	47,050	566,838	130,203	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	4	6					
		延べ業務時間	時間	5,400	8,000	9,000					
		人件費計(B)	千円	24,575	36,408	40,959	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	71,625	603,246	171,162	0	0	0	0	0
	活動指標	ア:社数			1.0	1.0					
	対象指標	ア:円									
		イ:円									
		ウ:人									
	成果指標	ア:戸									
		イ:人									
		ウ:人									
	上位成果指標	ア:円									
		イ:人									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成23年9月のふるさと愛プロジェクトのスタートから、農林業の6次化の拠点施設構想があり、整備に向けて準備が始まった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	農業者の高齢化の進展に伴い、ますます必要度が高まっており、市民の期待も大きい。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	慎重かつスピーディーに進めて、6次化農業の進展、延いては農家の所得向上が望まれている。なお、議会からは整備運営会社による事業推進に不安の声もある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	株式会社化により、事業推進の自由度を高めて、これまでよりも緩やかで効果的なプロデュースチームを編成し、整備計画を策定している。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	事業実施後の縛りが強固な国庫補助事業に頼らず、柔軟で臨機応変の対応ができる経営体となるよう、市からの融資による事業構築を行っている。

事務事業名	6次化のまちづくり推進事業	所属部	秘書課	所属課	秘書課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 農業の6次産業化は市長施策の大きな柱である。また、農林業の衰退に歯止めをかけ、地域経済の振興に資する。雇用も確実に増加を見込んでおり、農業への新たな参入も生むので、地域経済が活性化する。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 当初は市が導入を行わないとリスクが高く、民間では取り組めない事業である。拠点施設経営が軌道に乗るまでは市が関与するべきである。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 平成27年度当初のオープンを目指しており、事業を継続しなければならない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 事業実施を設立した株式会社にて委ねており、整備事業が終わり経営が始まるまで、市としての立場では向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 雇用促進協議会の行っている事業、観光協会が行っている事業 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 今後整備を進めると共に、事業内容の摺りあわせを行い、類似事業の統合等を考える。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 賃借する農地の地権者への対応が困難。また、設立した会社の運営が困難。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 25年度、26年度において投資を行っていくので、市として維持管理費は生じないので、削減のしようがない。
公平性 評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 今後、民間人の採用を進めるが、これは事業に必要なものであり、準備作業として当初に市として関わる人数が減る中で、用地確保等の業務も増えており不可能。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業が進み拠点施設がオープンすると直売所への参画農家は加入料や手数料を支払うと共に、加工業などにおいても参画する場合は出資を行う。利用者も受益に見合った料金を支払うので、公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	また、整備事業が終わっていない段階なので、評価を行いにくい。現状では、目的どおりに事業が進んでいるので、全体が適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 整備中なので、具体的な改善策はない。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 なし。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					